



発行所  
 太平山頂上鎮座  
 太平山三吉神社総本宮  
 宮司 田村 泰教  
 秋田市広面字赤沼3の2  
 電話 (018) 834-3443  
 F A X (018) 835-6864  
<http://www.miyoshi.or.jp>



1月17日 三吉梵天祭

宮田 村 泰 教

「偽装」なのか「誤表示」か。全国の有名ホテルや百貨店等で、食料表示の誤りが立続に発覚した。▽庶民にとっては、ちよつとした贅沢を味わうハレの場で噴出した偽り。何れ看板を信頼していた顧客は裏切られた思いで一杯だろう。▽「食」は身体や生命に直結する生活の基本。銘柄や新鮮さ重視を逆手にとり「どうせ消費者にはわからない」「より高く売れる」からと、利益優先の虚偽がまかり通れば、売り手と買い手の間の信用は根底から崩れてしまう。▽案の定、年末年始の商戦にも影響が見られるという。今年流に言えば、上っ面だけの「おもてなし」は、消費者に「倍返し」を食らうということか。▽「目に見えぬ 神にむかひて はぢざるは 人の心の まことなりけり」(明治天皇御製)。嘘や偽りなく正直に誠実に。それは商売のみならず、人間同士の付き合いでも最も肝要なことだ。

年末年始行事日程表

- 十二月 十三日(金) 午前十時 煤払い式
- 十二月 三十一日(火) 午後二時 師走大祓式
- 一月 一日(水) 午前零時 歳旦祭
- 一月 十七日(金) 午前六時 梵天祭
- 一月 二十六日(日) 午前十時 どんと祭

お伊勢さん  
(最終回) 30



遷御の儀 滞りなく齋行される

第六十二回神宮式年遷宮のクライマックスとなる遷御の儀が、皇大神宮(内宮)において十月二日行われ、天皇陛下より派遣された掌典長および黒田清子臨時神宮祭主、鷹司尚武神宮大官司以下百数十名の祭員奉仕のもと、無事齋行されました。

これに先立ち前日一日には後鎮祭・御装束神宝誦合・川原大祓、当日正午からは御飾(おかざり)の神事が行われました。

正宮から新宮へと神儀を遷し奉る遷御の儀は、遷宮祭の中核をなす祭事で、天皇陛下の御定めがあった二日午後八時より、浄間(じょうあん)穢れがなく清らかな闇の中で厳粛に行われ、大御神が本殿から出御(しゅつぎよ)され新殿へと入御(にゅうご)されました。

天皇陛下には、出御の時刻に宮中の神嘉殿(しんかでん)の前庭から遥かに伊勢の神宮を御拝(ぎよはい)されると漏れ承ります。

当日は皇族を代表されて秋篠宮殿下が参列されたほか、安倍総理大臣など約三千名の関係者が参列し、皇家第一の重事、神宮無双の大嘗と称される、ご遷宮において最も厳重な儀式とされる遷御の儀を見守りました。

また豊受大神宮(外宮)でも同月五日、遷御の儀が執りおこなわれ、約四千名が奉拝いたしました。



外宮遷御の儀



内宮遷御の儀



© 神宮司庁

第62回式年遷宮奉祝  
伊勢神宮参宮旅行のご案内

まもなく  
締め切り

当社では20年に1度の佳節を奉祝し、参宮旅行を下記の通り開催いたします。京都の社寺参拝をはじめ見どころ満載の旅行ですので、是非お誘い合わせの上ご参加下さい。

- 旅行期間：平成26年3月11日(火)～3月14日(金) 3泊4日
- 旅行代金：136,000円(秋田空港起点)
- 募集人数：80名
- 申込方法：申込書ご記入の上、申込金5,000円を添えてお申込下さい。
- 締切日：平成25年12月30日

日程	主な行程	宿泊施設	食事
1日目	二見興玉神社(浜参宮) ⇒ 伊勢神宮外宮(御垣内参拝)・せんごう館	≪伊勢泊≫ 神宮会館	食事夕
2日目	内宮(御垣内参拝・お神楽)・おかげ横丁 ⇒ 伏見稻荷大社 ⇒ 御寺泉涌寺	≪京都泊≫ 平安の森京都	朝昼(夜×)
3日目	平安神宮(正式参拝) ⇒ 上賀茂神社(正式参拝) ⇒ 銀閣寺 ⇒ 智積院 ⇒ 京都国立博物館見学	2日間	朝昼夕
4日目	京都御所 ⇒ 広隆寺(国宝館) ⇒ 松尾大社 ⇒ サントリー山崎蒸留所		朝昼



## 厄年・年祝いのご案内

厄年や還暦・古稀などの年祝いを迎えられる方々の無病息災・除災招福のご祈願祭を随時行っております。(団体様やホテル等での出張祈願をご希望の方はお気軽にお問合せ下さい。)

### 平成26年(甲午) 厄年・年祝い一覧

生まれた年	えと	男性	女性	年齢(かぞえ)
大正5年生	辰(たつ)	白寿(はくじゅ)		99歳
大正14年生	丑(うし)	卒寿(そつじゅ)		90歳
昭和2年生	卯(うさぎ)	米寿(べいじゅ)		88歳
昭和10年生	亥(いのしし)	傘寿(さんじゅ)		80歳
昭和13年生	寅(とら)	喜寿(きじゅ)		77歳
昭和20年生	酉(とり)	古稀(こき)		70歳
昭和28年生	巳(へび)	後厄		62歳
昭和29年生	午(うま)	還暦(かんれき 大厄)		61歳
昭和30年生	未(ひつじ)	前厄		60歳
昭和47年生	子(ねずみ)	後厄		43歳
昭和48年生	丑(うし)	大厄	厄	42歳
昭和49年生	寅(とら)	前厄		41歳
昭和52年生	巳(へび)		後厄	38歳
昭和53年生	午(うま)	厄	大厄	37歳
昭和54年生	未(ひつじ)		前厄	36歳
昭和56年生	酉(とり)		後厄	34歳
昭和57年生	戌(いぬ)	厄	大厄	33歳
昭和58年生	亥(いのしし)		前厄	32歳
昭和64年・平成元年生	巳(へび)	後厄		26歳
平成2年生	午(うま)	大厄	厄	25歳
平成3年生	未(ひつじ)	前厄		24歳
平成6年生	戌(いぬ)	成人		満20歳
平成7年生	亥(いのしし)		後厄	20歳
平成8年生	子(ねずみ)	厄	大厄	19歳
平成9年生	丑(うし)		前厄	18歳
平成14年生	午(うま)	十三参り		13歳

※年齢は数え年ですので、誕生日にかかわらず  
新年を迎えると一つ年をとります。



# どんと祭

1月26日  
(日)

午前10時～午後3時

お正月の松飾りや縁起物、また古くなったお札・お守りをお焚き上げいたします。当日ご都合の悪い方は、予め神社所定の位置にお納め下さい。

～書籍やぬいぐるみ・置物など神社にご縁のない物や不燃物はお預かりできません。

- 人形類は10月の人形感謝祭にお持ち下さい。
- 環境への配慮からビニール袋等は外してお納め下さい。

# みよしスケッチ



清興直会



当日祭

**秋季例大祭** (十月十六日・十七日)  
好天のもと、厳肅裡に斎行いたしました。



三吉節全国大会 (九月十七日)

**閉山祭** (九月十七日)  
神人奉仕により、御神体を里宮に遷御いたしました。



古い印鑑や表札の供養を行いました。

印章供養祭 (十月一日)

**人形感謝祭** (十月一日)  
愛着ある人形に感謝し、お焚き上げ神事を行いました。



秋田県立美術館等をまわり、約十キロを歩きました。

歩こう会 (十月二十日)

**七五三詣**  
お祝いのお子さまやご家族で境内は賑わいました。



### 大麻・暦頒布始祭 (十一月七日)

本年は中央支部と合同で祭儀を行いました。



### 梵天打合せ会 (十一月二十二日)

明年の梵天祭の打合せを行いました。



### 自衛警備隊総会 (十一月二十八日)

梵天祭の準備や警備について話し合いを行いました。



### 中田英寿氏参拝

十一月十六日、サッカー元日本代表の中田英寿氏が里宮に参拝され、その後太平山頂上奥宮にご登拝を頂きました。

中田様はREVALUENIPPON(リバリユーニッポン)日本の文化をめぐる旅の一環として来秋され、太平山登山は日程の都合から往復三時間のタイトなものでしたが、幸い会心の晴天に恵まれ清々しい登拝となりました。現役時代を彷彿される体力もさることながら、とても真人柄が印象的でした。

### 原田権彌 電話対応コンクール 秋田県アマチュア入賞大会出場

当社原田憲幸権彌宜が(財)日本電信電話ユーザ協会主催の電話対応コンクール秋田中央ブロック大会で見事に入賞し、十月十一日に行われた秋田県大会に、平成二十一年の和田権彌宜に続いて出場を果たしました。

同コンクールは正しく美しい日本語を守り伝えるとともに、電話対応の向上を図るために実施されており、当社からも毎年若手神職が参加しております。

残念ながら県大会入賞はなりませんでしたが、コール

センター等の本職の方々に交じり健闘しました。



### 奉納者ご芳名

### 横手会一同

代表 高橋 勉 様

○向拝案



藤田 悦子 様

○津谷毅八郎作レリーフ



## 平成26年 上半期主な祭典・行事予定

1月1日(水)	午前零時	歳旦祭	国家の安泰と皆様のご安寧をお祈りいたします
1月17日(金)	神事 午前6時	梵天祭	力の神である《三吉霊神》にあやかろうと威勢良く先陣を争い梵天を奉納する秋田の冬の伝統行事
	奉納 午前10時~正午		
1月26日(日)	午前10時	どんと祭	古くなったお札、お守、縁起物をお焚上げいたします(4頁参照)
2月3日(月)	午前10時	節分祭	福豆をまき供え、除災招福を祈ります
2月11日(火)	午前10時	紀元祭	神武天皇建国の偉業を偲び、日本の繁栄と世界平和を祈念いたします
5月7日(水)	午後6時	春季例大祭宵宮祭	五穀豊穡や家内安全、各種産業の発展を祈る春の例大祭
5月8日(木)	午前11時	春季例大祭当日祭	
6月初旬		太平山山小屋開所	10月初旬までの4ヶ月間、山頂に神職・関係者が常駐いたします
6月30日(月)	午後3時	夏越の大祓	上半期の節目に当たり、自分の罪けがれを祓い清めます

### 師走の大祓式

この一年の間、知らず知らずの内に自分の身に積もった罪けがれを、形代(かたしろ)に託して祓い清め、心身ともに清々しく新年を迎えるための節目の神事でございます。  
ご多忙の折とは存じますが、是非ご参列下さいますようお願い申し上げます。

#### 記

一、日時 平成二十五年十二月三十一日(火)  
午後二時  
一、於 神社拝殿

○ご都合のつかない方は、形代でご自身の身を祓い清め、随時ご持参又はご郵送下されば三十一日当日神事ご奉仕の上、御神符をお送りいたします。

○当日ご参列の方は、参列できないご家族の方の形代をご持参下さい。

※形代(かたしろ)は神社にございますので、必要な数をご連絡下さい。



秋田市赤沼

# 三吉 梵天祭

平成26年  
1月17日(金曜)

◎ 神事…午前6時  
◎ 奉納時間…午前10時30分～正午

ほんでん

三吉節 清興

奉奠

人に押し負け大きらい

厳寒の一月、雪国の静寂を打ち破って  
藤田調治「秋田の行事」にも描かれた  
秋田の冬の風物詩「ほんでん」が行われる。  
力の神・勝負の神を祀る太平山三吉神社の  
例祭に奉納される梵天は、数十人の男たちを従え、  
意匠をこらした梵天は、数十人の男たちを従え、  
雪の町を練った後、神社に集結する。  
「人に押し負け大きらい」「三吉節も高らかに、  
法螺貝と「シヨヤサ」の掛け声が勇ましく轟くなか、  
万を越す観衆の前へ。  
十余りの梵天が踊り乱れ、  
男たちは波となつて激しくもみまじり。  
一年の幸を願う熱い祭は、今年も「足早い春を呼ぶ。」



太平山三吉神社総本宮  
秋田県秋田市広重字赤沼3-2 ☎016-834-3443 <http://www.miyoshi.or.jp>

平成26年度 梵天祭ポスター